



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 細谷 俊夫 幹 事 伴 誠 会報・雑誌委員長 床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3070号 2024年11月26日(晴れ後雨) 第20回例会 会員数99名

ハイブリッド例会



点 鐘 細谷会長
司 会 副SAA 飯村会員

- ◇ロータリーソング「それこそロータリー」
- ◇本日のメニュー スペシャルディナー



会長挨拶 細谷俊夫会長

皆さん、こんばんは。先週19日~22日まで総勢30名で台湾へ行ってきました。この後、鳳山西區扶輪社との締結5周年記念式典等について黒崎姉妹クラブ副委員長より報告があります。

今日は、世界のトイレを研究しているジャック・シム氏らが中心となり、2001年11月19日にWTO(世界トイレ機関)が設立されたことにちなんで、国際デーの1つとして記念日に制定されています。同氏は、世界でも最高水準にある日本のトイレの洗浄技術の高さや、衛生環境面の良さ等を広く世界に発信しています。また、生徒がしっかりトイレ掃除をしてトイレが綺麗な学校の生徒は、道を踏み外さない傾向が強いとか。ソ連崩壊後のロシアで、成功を収めた新興の経営者たちが一同に揃った異業種会合で、自分たちの共通点は何かという雑談的な話題が持ちあがり、見つかった数少ない共通点の一つが、自分でしっかりトイレを掃除して綺麗にしていることだったとか。加えて、風水的にも、金運、恋愛運、健康運等のあらゆる運に通じ、邪気をため込まない意味でも、常に清潔に保つことが推奨されています。皆さんトイレを頑張って綺麗にしましょう。



幹事報告 伴幹事

- ◇クラブ年次総会の「選挙」に関するお知らせ
12月3日、2024-2025年度クラブ年次総会開催。
会長(次々年度会長)、副会長、幹事、会計、SAA、および8名の理事の選挙及び今年度前

期の一般会計の収入と支出の中間報告。是非ご出席を。

◇R財団より表彰

- <PHF>
山下 大介会員
- <マルチプルPHF>
黒澤 佳樹会員(1回目)
山中 和弥会員(1回目)
平野 利一会員(2回目)
尾野崎孝夫会員(2回目)
吉川 卓志会員(2回目)
川村 壽文会員(4回目)
野口 忠男会員(5回目)
末永 義雄会員(5回目)



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会
野球部一同

SAA代読



11月17日(日)にRI第2550地区ガバナー主催第27回親善野球大会が行われました。当クラブはホストクラブとして参加し、結果は2戦2敗と残念な結果でございましたが、たくさんのクラブの方々にお手伝いを頂き、無事終了することができました。東ロータリークラブの皆様にもご参加いただき、心から感謝申し上げます。大変有難うございました。

◇出席委員会

SAA代読

- <皆出席表彰・10月分>
連続 7年 飯泉 修一会員

通算 5年 山下 大介会員
通算 4年 中村 明会員



卓 話

「台湾訪問について」



姉妹クラブ副委員長 黒崎定美会員
皆さん、こんばんは。国際奉仕委員長、姉妹クラブ委員長に代わりご報告させていただきます。

— スライド写真にて説明 —

去る11月19日、細谷会長を団長とした東ロータリークラブ、夫人の会、通訳を含めて総勢30名で台湾へと出発致しました。ロータリーに入ってから17年、そのうち国際奉仕、姉妹クラブに15年関わっていますが、海外へ、最大メンバーで今回の事業に臨むことができたのは、ロータリークラブ皆様のご理解と細谷年度の執行部の皆様のご協力のおかげと、改めましてこの場をお借りして御礼申し上げます。皆様ありがとうございます。

姉妹クラブを結ぶまで、1年ちょっと友好交流をしていましたが、いろいろな事業を一緒に行うために、旭年度で正式に姉妹クラブの締結をする運びとなりました。5周年の筋目に相互で奉仕活動をしようということで、当時国際奉仕委員長だった片嶋副会長が、児童福祉施設への相互のやり取りを提案し、先方の国際奉仕委員長の林さんに手紙を書き、5周年は相互で奉仕活動をして式典をより盛り上げよう、ということでもとまりました。5月に、当時会長エレクトの細谷会長と数名で台湾を訪問して打ち合わせを致しました。

5周年の式典では心温まる歓迎を受けまして、はじめに陳建宏社長が祝辞を述べ、次に細谷会長の祝辞、当クラブからは他に片嶋副会長と辻国際奉仕委員長の祝辞がありました。また、福田富一栃木県知事からの祝辞を川村パスト会長が代読いたしました。他に、佐藤栄一宇都宮市長、船田元会員、螺良昭人会員から祝電を頂き、鳳山西區扶輪社からも有難いお言葉を頂戴いたしました。アトラクションでは、アフリカンドラムを叩きながら輪になって踊り、日台関係なく皆が一つになったと感じた一瞬でございました。10時近くまで盛り上がり、今までで一番感動した式典でした。



式典会場

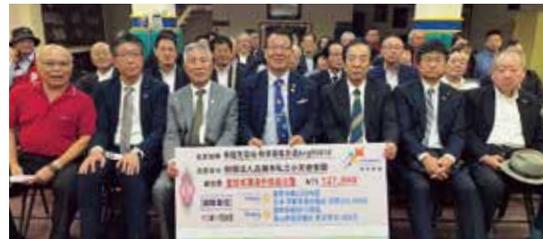


式典会場

二日目は、相互事業である、児童福祉園への品物の贈呈に参りました。児童福祉園は小天使家園といいまして、1歳から3歳位までの身寄りがない等の子ども達をこの施設でみておりまして、里親の募集もしております。



高雄の養護施設 小天使家園に到着



贈呈式

子供たちは非常に人懐こく、明るく元気に育っています。「よい里親にひきとってもらえれば幸せになれるんだろうなあ」と実感して帰ってきました。贈答式では、細谷会長、そして陳社長が感謝状を受け取っております。これが今回の5周年プロジェクトの第1弾ですが、第2弾があります。来年5月の17日～21日まで鳳山西區扶輪社のメンバーが来日します。20日(火)に、社会奉仕委員会が中心となり、姉妹クラブ委員会が後押しをする社会奉仕の事業を、鳳山西區扶輪社が奉仕活動として行うことになっております。詳細については社会奉仕と姉妹クラブで連携し、合同委員会を開き詰めていきます。

残りの2日間は、細谷年度の理事会の旅行、そして国際奉仕委員会の慰安旅行を兼ねた2日間でした。帰ってきて、日本が非常に寒くてびっくりし、台湾は暖かいと改めて感じました。